

平成17年度沖縄県共同募金会事業実績

I 平成17年度(第54回)共同募金運動の実施

前年度目標額より8,263,000円減の229,937,000円の目標額を掲げて展開された本年度の共同募金運動は、各支会・分会の役職員始め、共同募金奉仕者の献身的なご協力と県民の深い理解に支えられて実施いたしましたが、全体では、一般募金が達成率にして90.9%の成績となっております。

目標額未達成支会・分会が20ヶ所(8市7町5村)となり運動の厳しかったことをうかがわしています。

1) 平成17年度(第54回)共同募金結果

目標額：229,937,000円

実績額：208,926,494円(達成率90.9%)

配分内訳(カッコ内は配分率)

市町村社協配分	122,038,202円(58.4%)
福祉施設団体配分	32,400,000円(15.5%)
災害支援等準備金	7,500,000円(3.6%)
支会・分会交付金	12,000,000円(5.7%)
次年度運動引当金	16,000,000円(7.7%)
本部経理区分繰入	18,988,292円(9.1%)

2) 市町村別実績額・配分額(詳細略)

3) 広域福祉施設団体配分(詳細略)

4) 災害等準備金積立金による福祉施設団体配分(詳細略)

II 支会・分会強化のための基盤整備並びに研修会開催

1) 支会・分会事務局長並びに職員研修会の開催

2) 共同募金運動説明会等の開催(20件)

III 広報活動の実施

1) 共同募金運動(一般募金用)広報チラシの作成配布

2) 赤い羽根空の第一便伝達式の実施

(10月1日、パレットくもじ前広場)

3) 先島への赤い羽根空の第一便伝達式の実施

(10月1日、宮古空港、石垣空港各ターミナル)

4) バス車両内への共同募金広報チラシの掲示

5) テレビ・ラジオスポットによる広報活動

6) 街頭宣伝パレード並びに駅伝の実施

(10月7日、平良マリンターミナル)

7) 福祉施設団体配分金内定通知書交付式の開催

(4月8日、県総合福祉センター)

IV 功労者の顕彰

1) 厚生労働大臣の感謝(1団体)

2) 全国社会福祉大会における表彰(2個人)

3) 中央共同募金会長の感謝(9団体、11個人)

V 大口寄付者の取り扱い

1) 県共募扱いの大口募金(10件、10,977,863円)

2) 支会・分会取り扱いの個人大口募金(5件、2,100,000円)

3) 支会・分会取り扱いの法人大口募金(1件、1,095,000円)

VI 平成17年度(第50回)歳末たすけあい運動の実施

地域歳末目標額69,430,000円、県共募9,000,000円

目標額計78,430,000円

地域歳末実績額64,119,233円(達成率92.3%)

県共募取扱分額9,237,338円(達成率102.6%)

1) 地域歳末たすけあい(市町村支会・分会取り扱い)

義援金受付(49件、90,514,661円)

義援金配分(261件、65,497,932円)

2) 歳末たすけあい(県共募取り扱い)

義援金の受付(391件、9,237,338円)

義援金の配分(86件、11,921,000円)

3) 義援金交付式の開催(86施設団体、11,921,000円)

4) 歳末たすけあい物品受付(3社、4品目、1,328,000円相当)

5) 歳末たすけあい物品配分(計111件)

6) 歳末たすけあい大口寄付(4個人、1,250,000円)

7) 歳末たすけあい大口寄付(3団体、3,951,000円)

VII 災害たすけあい運動の展開

1) 送付先及び送金額(送付先：県共同募金会)

①福岡県共募 3,680,497円

②宮崎県共募 2,968,644円

③山口県共募 400,000円

④鹿児島県共募 200,000円

4県、合計 7,249,141円

VIII 公益補助事業

1) 日自振、日動振補助事業

平成17年度分決定状況(2件、60,000千円)

平成18年度分内定状況(3件、58,139千円)

2) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業(3法人、15,900千円)

IX 特定寄付金・特定指定寄付金

平成17年度特定・指定寄付金状況(4件)201,532,752円)

X 各種委員会及び交付式の開催

1) 共同募金に係る委員会(共同募金配分委員会、2回)

2) 日自振等の行う社会福祉事業に係る委員会等(計5件)

3) 補助金・助成金等の内定通知書交付式(2回)

XI 県外関係会議・研修会への出席

1) 共同募金関係(7件)

2) 公益資金関係(2件)

XII 会務の運営

1) 理事会の開催(2回)

2) 監事の監査(1回)

3) 評議員会の開催(2回)



沖縄県福祉サービス運営適正化委員会における苦情取扱状況報告

苦情受付件数は計60件

平成17年度に県福祉サービス運営適正化委員会で受付けた苦情相談は次のとおりとなっています。種別ごとの受付件数の内訳は、老人福祉サービスが28件、障害者福祉サービスが16件、児童福祉サービスが6件、その他が10件、合計60件となっています。相談内容の内訳は、下図のとおりとなっています。

相談事例

利用者家族からの苦情申出

施設における利用者へのサービス内容に関して、利用者の点滴や褥瘡の処置などの医療体制や職員による説明の仕方や利用者への接遇に対する不満

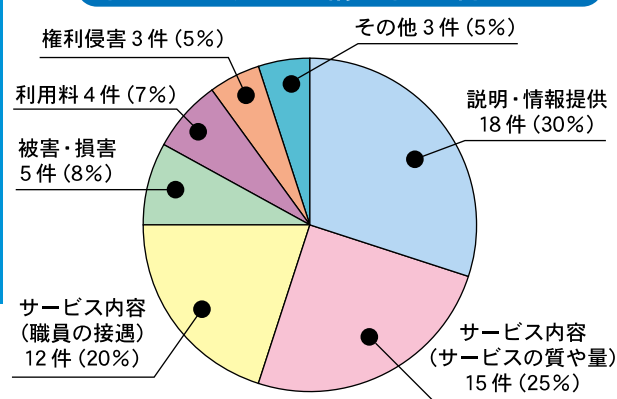
運営適正化委員会の対応

施設での職員の利用者への関わり方や医療機関との連携体制などについての事情調査を実施。事情調査結果を、苦情申出人に伝え、委員会により施設への改善の申し入れを行い、苦情申出人と施設との話し合いをあっせん。



ココがポイント！

平成17年度 苦情受付内容別件数



何よりも、福祉サービスについて、要望や不満、苦情などがあつた際、福祉サービス提供事業者において、①いつでも気軽に相談できる相談受付体制 ②利用者主体の理念のもと、第三者委員等を交えて、適切に話し合いなどをして対応できる解決体制が重要となります。県内では、福祉サービス利用者の日頃の思いや困ったことなどを丁寧に傾聴し、一緒に考え、解決していく、福祉オンプズマンや介護相談員の受け入れを実施している福祉施設もあります。

福祉サービスに関する苦情相談のお問合せは・・・

沖縄県福祉サービス運営適正化委員会 電話098-882-5704 FAX.098-882-5714

E-mail kuzyou@okishakyo.or.jp

那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター西棟3階

沖縄県社協新採用職員紹介

沖縄県社協で新採用した職員の紹介です。今後ともどうぞよろしくお願いします。



施設団体福祉部 主事 崎山 千尋

皆さんこんにちは。

5月1日付けで県社協に採用され、施設団体福祉部に配属になりました崎山千尋です。県社協には非常勤職員として平成15年に採用され、嘱託職員を経て、現在は種別協議会の障害分野を担当しております。

新しい業務になり、まだまだわからないことが多数ありますが、関係団体の方々と連携を大切にしながら仕事をしていきたいと思いますので、ご指導・ご助言をお願いいたします。

民生部 主事 川満 大

5月より沖社協に採用され、民生部に配属となりました。

民生部では、生活福祉資金貸付事業等を行っており、私は主に償還(返済)に係る業務を担当しています。

福祉制度改革が進み、福祉の捉え方も変わる中、担当する業務を通して地域の福祉活動に、わずかながらでも携われることに、強い責任とやりがいを感じています。

これから、県内の地域福祉のためにご尽力されている皆様のご指導や助言を受けながら、日々の業務に励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

